



鹿骨東小学校



鹿骨東小学校公式ホームページ <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shishibonehigashi-e/>

支え合い 一致団結 仲間と未来に走り出せ

校長 鈴木 衣里

5月30日(土)運動会では、たくさんの地域・保護者の皆様方から温かいご声援をいただき、誠にありがとうございました。改めて、児童会を中心とした子供たちが考えた今年度のスローガンを紹介します。

「支え合い 一致団結 仲間と未来に走り出せ」

演技や競技で全力を出し切り、頑張っている仲間を一生懸命応援する、そんな運動会を目指して、3週間の練習を積み重ねました。特に、各学年の創意工夫が輝いた「表現」についての取組を紹介します。

4月に比べて並び方がとても上手になった1年生。「未来のミュージアム」の立ち位置を決めるとき、自分たちで間隔をとりながら広がるできるようになりました。家庭でも練習した成果が表れていました。

2年生「ば・く・れ・つ♡」では、手旗を勢いよく風になびかせて元気よく踊る姿が立派でした。思い思いのポーズも個性的で、観客もつられて一緒に身振りをするほど、会場を楽しい雰囲気包みました。

「鹿骨イーストピア2026」で、グループで輪になって教え合った3年生。手作りの耳のカチューシャを付けて登場人物になりきり、自信をもってグループで考えたポーズを表現し、リズムに乗って踊りました。

4年生は「東っ子ソーラン2026」に挑戦しました。背中に思い思いの文字を描いた法被をなびかせ、北海の漁の荒々しさをダイナミックに表現しました。勇ましい掛け声が、校庭いっぱい響き渡りました。

5年生の「御神楽 継承 ～響～」。昨年度、4年生のふるさと学習で作った扇子を、くるりくるりと上手に回す姿が、見事でした。6年生に教えてもらった御神楽を、自信をもってのびやかに舞いました。

6年生にとって小学校生活最後の「御神楽 伝承 ～輝～」。昨年度、上級生に教えてもらった舞いを、5年生に休み時間も使って熱心に伝えていました。御神楽の動きを生かして現代風にアレンジした部分でも、6年間の思いを込めて存分に舞うことができました。

どの学年も練習の成果を発揮し、一致団結する素晴らしさを体で表現することができました。互いの努力を讃え合い、未来に走り出す大きな一歩になるよう、今後の指導に生かしてまいります。

また、今年度は熱中症対策のため、短距離走の着順判定と選抜リレーを行いませんでした。楽しみにしていただいていた皆様のご期待に沿えなかった面につきましては大変心苦しく存じますが、児童の健康と安全を第一に考えた選択でした。お蔭様で大きな事故や怪我もなく、無事に終了することができました。保護者や地域の皆様方のご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

* * * * *

校庭で運動会練習に励む子供たちを見守るように、田んぼでは稲が根付き、元気に伸び始めました。毎朝、学校応援団グリーンボランティアの方々が、田んぼの様子を気に掛けて水の調整をしてくださっています。

また、5月26日には、子ども未来館の皆様と共に、3年生が本校プールにて「ヤゴ救出大作戦」を行いました。本校は、すぐ近くに親水緑道が流れているので、様々な種類のヤゴが住み着きやすいそうです。ギンヤンマ、イトトンボ、赤トンボ等のヤゴが約450匹、昨年放ったメダカが200匹以上収集できました。